

あんしん・あんぜん・元気なてらやつ 広報第13号

寺谷小域福祉ネットワークだより

\*\*編集・発行\*\*

発行責任者:前川 清

問合せ先:「なのはな館」

電話: 92-1481



10月9日(月・祝)寺谷小学校にて「てらやつ祭り」が開催されました。共催として小域ネットワークでは、てらやつ祭り実行委員会とともに、9月24日の草刈りをはじめ、前日準備、会場整備、駐車場誘導などにあたりました。

当日はあいにくの雨のため、体育館での開催となりましたが、30を超えるハンドメイドや物品販売のブースが所狭しと並び、体育館脇にはたこやきやクレープなどのキッチンカー、フードのブースが軒を連ねました。

予想を遥かに超える800名以上の来場者にフードは軒並み完売となり、大賑わいとなりました。メイン会場の体育館のあちこちでは、久しぶりに再会した卒業生が声を掛け合い、懐かしく語り合う姿も見受けられました。

ステージでは、吉野台太鼓連による演舞、辰巳台から参加した「こころ舞踊団」によるダンスのほか、DJが音楽で場を盛り上げ、フィナーレではオタ芸ダンスも披露されました。寺谷小学校の関係者も「こんなに人が来てくれるなんて」と驚きを隠せなかったとか。

校庭を彩ったアンブレラスカイの傘は主に、なのはな館などで呼びかけた地域の方からの提供。4ページ掲載の学び塾で、カレー作りの合間に寺谷小の子ども達が傘に絵や文字を描いてくれたもの。また、船橋市の子ども食堂で子どもたちが描いて協力したものだそう。当日も用意した傘が足りなくなるほど、絵付けの参加者があったそうです。

てらやつ祭りの様子はInstagram @terayatu1009

[https://www.instagram.com/p/CyKT959vToq/?img\\_index=1](https://www.instagram.com/p/CyKT959vToq/?img_index=1)

でも見るすることができます。寺谷小学校が地域や卒業生に愛されていることを強く感じた1日でした。



# 「日常生活支援」の取り組みについて

現在、寺谷小域福祉ネットワークでは「日常生活支援」という事業を立ち上げるため、高齢者の日常生活を地域全体で支える仕組みづくりを検討しています。

## 日常生活支援とは？



日常生活でのちょっとした困りごとを抱えている方に、そこにお住まいの地域住民同士でお手伝い（問題解決）をする活動です。

この背景として、少子高齢化や核家族化が要因となり、高齢者のみの世帯が増加して、今まで普通にできていた、掃除やゴミ捨て、家具の移動などが出来なくなり、生活そのものが成り立たなくなるといったご相談が増えてきました。実際そのような家庭環境になって、地区社協やトータス（地域包括支援センター）に支援を求めている方がいらっしやいます。

市原市でも公的な福祉サービスの制度はありますが、このような「日常生活のちょっとした困りごと」の解決には至っていません。

## 寺谷小域福祉ネットワークが目指す目標とは？

公的制度では支援できない、生活でのちょっとした困りごとの解決を、寺谷小域福祉ネットワークの組織的な活動として位置づけ、展開したいと考えています。



この活動は「お互い様」、「向こう三軒両隣」を基本理念とし、先ずは”できる事から始める”をコンセプトとし、令和6年度にスタートし、走りながら調整していきたいと思います。

また、近々アンケートを取らせて頂き、困りごとのニーズの把握や支援者を募りたいと考えておりますので、この活動にご理解を頂き、ご協力をお願いいたします。

## 市原市資源回収推進事業における感謝状の贈呈について



本年10月28日(土)「寺谷小域福祉ネットワーク」が地域における資源回収推進事業に貢献があったという事で贈呈式に招待されました。

資源回収推進事業(集団回収)とは、町会・自治会やPTAなどの団体で、日時を決め、家庭から出る資源物を持ち寄り、資源回収業者に引き渡す活動のことで、現在245団体が登録されています。

贈呈式では、小出市原市長より感謝のお言葉と、感謝状が贈呈され、小勝山団地自治会長の谷野さんと小域福祉ネットワーク会長の前川さんが出席しました。

寺谷小域福祉ネットワークで実施している資源回収(毎月第1日曜日)では、発足時から常にトップランナーでこの活動に貢献してきました。この受賞ができたのも寺谷地区内の皆さん一人ひとりの資源回収への取り組みの熱意のたまものと感謝いたします。

なお、感謝状は小勝山団地自治会館に掲示することにしたので、お立ち寄りの際はご覧になって下さい。



市原市役所第1庁舎4Fにて

# プラタナスの樹を考察する

寺谷小学校の歩みをたどる

vol.1

寺谷小学校のシンボルといえば、誰もがプラタナスの樹を思い浮かべる。幹回り4mを超える堂々とした姿、夏の強烈な日差しに涼やかな陰を落とす姿には威厳が感じられる。

寺谷小学校のプラタナスの樹齢はいくつだろう。切り倒して年輪を数えるわけにはいかないから、大雑把に1年で径が1cm太くなると仮定して、幹の外周407cm÷3.14=径130cmと概算し、樹齢130年とする仮説を立てた。資料を探して検証しよう。

寺谷小学校は昭和56年(西暦1981年)に開校したが、その時の航空写真には、まだ造成の途中でプラタナスの樹はない。その後寺谷分校から移植されたと聞かすが、分校の航空写真を見ると当時ですでにかなりの大樹になっており、枝葉を落として掘り上げて移動するのは大プロジェクトだったろう。誰もがこの樹に強い思い入れがあったのだと推察する。

寺谷小学校30周年記念誌「30年のあゆみ」によれば、昭和22年(同1947年)ごろの寺谷分校の様子

を記した見取り図にプラタナスの樹が描かれているし、昭和9年(同1934年)~13年(同1938年)に分校に通った土橋さんは、校庭にプラタナスの樹があったのを覚えている、と記している。これで89年前まで遡ることができた。

寺谷分校は大正5年(同1916年)に現在の分校跡地に建てられたが、分校校舎全景写真を調べると右手奥に若い木が支柱と

一緒に立っている。これがプラタナスだとして、分校校舎竣工の頃に樹齢10年くらいの苗を植えたとすれば1906年つまり樹齢117年となる。かなり仮説に近づいたがそもそも右手奥の木がプラタナスかどうかの確証はない。

インターネットで情報を検索すると、ズカケノキ(南東ヨーロッパ及び西アジア原産)とアメリカズカケノキ(北米原産)の両者の人工交配種がイギリスで作られ、モミジバズカケノキとして日本へ渡来したのが明治時代前半で、これら3種を総称してプラタナスと呼ぶ。最初は新宿御苑で増殖され、日本で初めてプラタナスが街路樹として使われたのは明治39年(西暦1906年)のことでその後盛んに植えられたという。これから考えると、2023-1906=117年と、苗木を育てるのに+10年かかるとすれば、街路樹のプラタナスが今も植えられているとして樹齢は最大127年くらい、ということになる。新宿御苑には今も沢山のプラタナスの巨木があるそうだ。

寺谷小学校のプラタナスも街路樹が盛んに植えられたころのものとして、その樹齢は117年~127年くらい、である可能性が高いことが判った。冒頭の樹齢130年、とした仮説はあながち間違いではなさそうだ。

余談だが、プラタナスの英語の花言葉は「genius(天才)」「curiosity(好奇心)」だそうだ。古代ギリシャの哲学者プラトンが、プラタナスの樹が植えられたアカデメイアの森で哲学を説いたことに由来する、と言われている。寺谷小学校にふさわしい樹である。

(文責 高垣 仁)



西国吉・南岩崎・上高根・中高根地区  
寺谷地区の中心地!

Yaxs ヤックスの  
**移動スーパー**

12/19(日) OPEN!

この最大級の移動スーパー「らくちん便」を地域の中心地に運行させて頂くことになりました。つぎまして、12月19日(日)の移動スーパーにぜひご来店ください。

野菜や肉類などの生鮮品 | 牛乳や卵などの日用品 | 惣菜や漬物などの食品を販売しています! 皆様のご利用をよりお持ちしております!

移動スーパーの  
販売品目はこちら!

生鮮食品・日用品・食品・日用品などを豊富に品揃え! 車に似んでいらない商品の販売も取り扱います!

※対象店舗の取扱品目は掲載のみとなっております。  
※販売時間としてお昼14時~16時(16時以降は閉店)となります。生い、6時以上購入の場合は一律50円にてさせていただきます。  
※交通事情により多量の商品が運ばれない場合がございます。販売の可能性がある以下の店舗を事前にお知らせいたします。  
※詳しい店舗を掲載し、気になる場合は、ぜひこちらお電話にて下記の電話番号へお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先  
080-9190-0089 (9時~16時まで)

※販売場所や運行時間など詳細情報は裏面に記載しております。

## 移動販売車をご存知ですか?

地域の買い物支援に、スーパーヤックスの移動販売車「らくちん便」が運行しています。寺谷地区では毎週月曜日の午後、各地区を回っています。生鮮食料品、食品、日用雑貨など品揃えも豊富です。ない品物は注文もできるとのこと。どうぞご利用ください。



ヤックス移動販売スーパーらくちん便 運行予定表 (毎週月曜日)

地区	訪問場所	開始	終了
西国吉	① さくら公園	14:20	14:50
南岩崎	② 小勝山団地 運動公園	15:00	15:30
中高根	③ 高根台会館	15:40	16:10
中高根	④ 中高根若葉町会自治会館	16:15	16:45

問い合わせ先: 080-9190-0089



### 子ども支援班

## 寺谷小学び塾

寺谷小学び塾は年7回ほどの塾が開催されていて、4月に田植えをして、9月に稲刈り、そして10月のカレーライス作りを予定していました。今年は田んぼの耕作してくれる人が見つからず米作りが出来ませんでした。カレーライス作りは是非再開したく、9月30日小域ネットワークで食材を準備、カレー作り班と飯盒炊飯作り班とに分かれて作業開始、PTAや地域の方々の協力を得ながらケガも無く無事終了しました。

食事は残念ながら雨になり屋内となったが子供達はおかわりをするなどルーは完食、ご飯は適度なおこげの有るおにぎりを作ってもらい持ち帰りになりました。

6年生にはコロナに依り数年出来なかったカレーライス作りが出来、良い思い出になったのではないのでしょうか。

## 寺谷分校跡地と寺谷小校庭の草刈りをしました

寺谷地区7町会と寺谷小域福祉ネットワーク合同で9月24日(日)に毎月行われ回収された資源物(缶、ペットボトル、瓶)の集積場所として使用している寺谷分校跡地の草刈りを実施しました。

現地は1mを超えた雑草、周辺の竹・ツタなどが茂り、これは時間が掛かりそうだと思っておりましたが、各町会、自治会から25名と多数の協力者で草刈りのベテランばかり、小一時間で見違えるようになりました。

分校跡地の草刈り終了後寺谷小学校へ移動し、校舎北側の植え込みからスタート、校庭北側の大きな面積を刈り取りしました。寺谷地区関会長をはじめ各町会、自治会の協力者の皆さんありがとうございました。



### 高齢者支援班

## ふれあいいいきいきサロン 報告

私たちが開催している「いきいきサロン」は、広報紙で掲載しているように高齢者の皆さんに、ふれあいの場・仲間づくりの場および健康増進の場を提供しています。

今回は、9月22日に西国吉台集会所で行われたサロンについて報告します。残暑が厳しい中、スタッフを含め18名が参加して、タオル体操で始まり、しり取り遊びを含めたボール蹴りゲーム、おしゃべりタイム、そして最後に参加者・スタッフ全員で40~50年昔を思い出しながら昭和の名曲を合唱して終わりました。



### 編集後記

寺谷小学校正門前の銀杏並木が色付き初め、被写体としてカメラに収めた昨年を思い出し、校庭を眺めながら5月の春季大運動会、校庭草刈り、学び塾でのカレー作りなど一年が足早に過ぎて行きました。

広報紙1面に多数の皆さんに来ていただいた「てらやつ祭り」の報告を掲載、取り組み始めた「日常生活支援」の概要、今回からスタートした「寺谷小学校の歩みをたどる」などで2~3面を埋め、連載の続いた「私の散歩みち」は紙面の都合で次回に迴します。草刈り・いきいきサロン・子ども支援班の結果報告を4面に載せました。

小域福祉ネットワークの年間を通しての行事、活動の取り組み、そして各地域の身近な情報を伝える手段は広報紙の使命と考え、私たち広報紙編集班は皆さんの協力を得て、親しめる広報紙づくりに取り組んで行きます。 広報紙編集班:大畑 廣志